

やつおもて

第3号 (2014年4月)
編集発行：和田公民館
協力：公民館運営推進委員
電話：(45-1918)
eメール:wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区 いろいろ見て歩く記～



は～るがき～た、
♪は～るがき～た、
どこに～きた～♪

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか？だいぶん暖かくなってきましたね。つぬも、なんだか心がうきうきして、なんかいい事がありそ～な気がしています。

今年、小学校が閉校した後に公民館が移転します。新しい場所でみなさんと一緒に楽しい事をやりたいと思っていますので、これからもよろしくお願ひしますね～。

和田地区の歴史コーナー

前は、やつおもて古墳の紹介をしましたが、和田地区には他にどんな古墳があるのでしょうか。ふるさと歴史公園にある資料から紹介しましょう。



「旭町3000年の歴史」(抜粋) ～坂井原遺跡～

私達が暮らしている旭町に、いったいつから人々が住み始めるようになったのでしょうか。これまでは、弥生時代終わり頃(約1800年前)の重富遺跡が最も古く、町内にはさらに古い時代の遺跡が存在する可能性もあるものと考えられていました。しかし、旭町戸川の岡本義徳さん宅新築工事の敷地造成の際、大量の縄文式土器の破片(約800片)が発見され、土器の破片のほかに石器や石の鏃(やじり)なども出土し、当時の人々の生活を裏付ける貴重な資料を得る事ができました。この発見により旭町の歴史は約3000年前まで遡ることになり、教育委員会ではこの地の字名から 坂井原遺跡 と銘々しました。

この記述を見ると、和田地区の歴史が旭町の歴史とも言えます。3000年もの間、人が住み続けてきた和田地区は住みやすい地域なのかもしれませんね。

この他にも、小才遺跡(天津谷)、新塚古墳群(重富)、重富遺跡、向イ山古墳群(和田)、丸山古墳群(重富)、福原宅裏横穴群(重富)、などが旭町埋蔵文化財調査報告4に記されています。

かげぐちは 聞かない言わない 広めない

続いては和田地区に伝わる民話のコーナーです。

縦横にひびが入った地藏さん

一防六を仰ぎてより一

昔、和田の柏尾谷はかな流しが盛んで、荒くれ男達も日々の仕事に手や足にひびやあかぎれをつくり汗を流していた。そのかな流しの作業の途中で山肌から珍しい石がのぞいた。ひびが入ったような模様の石！これはいい！「ひびきれ地藏さん」と言うこととして「ひびやあかぎれにご利益がある」と伝えていこう。ということになった。

その地藏さんは、和田から都川へと続く柏尾谷の大原神社の後ろを通過って、戸地ヶ峠の方へ少し行った、右手の山側に石で囲んで建ててある。都川の方は、和田の八色さんへ参る途中で多くの方が「小麦粉を溶かして、その地藏さんに塗りながら、願をかけた」ということです。(文・絵 佐々岡健次)

※かな流し…岩石の中にある砂鉄を、河川や水路の流れを利用して取り出す方法のこと



つぬも、洗濯やご飯の支度でよくあかぎれができたのよ。冬は特に痛くてね。もしその頃住んでいたらきっとお参りに行っていたわね！



二輪草

和田の春に咲く草花

キンポウゲ



館長の今月の故事・ことわざ

あーる な つき Rの無い月の 牡蠣はよくない
Rの無い月の 牡蠣はよくない
Rの無い月、5月から8月にかけては牡蠣を食べてはいけないと言う西洋の言い伝え。牡蠣は、5月から8月にかけて産卵期で、その間は食用にしない事から。

英語の月名は、January (1月)、February (2月)、March(3月)、April (4月)、May (5月)、June(6月)、July(7月)、August (8月)、September (9月)、October(10月)、November(11月)、December (12月)で、5月から8月までのつづりにRの文字が含まれていない。

日本でも「花見が過ぎたら、牡蠣食うな」と言う。

今月からシリーズで八戸川に住んでいる生物を紹介します。

八戸川漁協組合長、榎本泰弘さんの「八戸川よもやま話」と一緒にお楽しみ下さい。

八戸川よもやま話 その①

八戸川と言えば、中国山脈の阿佐山、丸瀬山、三ツ石山、天狗石山、雲月山のいずれも標高千メートル級の山々から滴り出た水が沃（よく）になり谷を作り小川となり、清水が清流を育み、滝を作り瀬となって流れ出たのが八戸川である。その清

鮎 キュウリのような香りがする為



別名を香魚ともいう

水を求め、恩恵を受けて栄えてきたのが、市木、都川、坂本、戸川の各地域である。古代より、住人は自然の恵みの中で営み、生活をしてきた。小生は、この八戸川が母なる川であり現在までを顧みれば、川で生まれ、川で育ち生活の大半は八戸川に支えられた人生であったと思うし、そう言っても決して過言ではない。

その八戸川の清流を求めて、日本海より溯上する魚がいた。サクラマス、鮎、ウナギ、モクズガニ等である。昭和 33 年に第 1 八戸ダムが建設されて溯上魚は 1 匹もいなくなるという寂しさや悲しさを体験したが、諸先輩方の懸命な努力により永年補償による鮎、ウナギ等の放流が義務付けられた。昭和 51 年には、江川漁協と分離され八戸川漁協が設立されて現在に至っている。

小生の一生には、八戸ダム建設以前の楽しみも沢山ある。6 歳頃初めてつけ針でウナギを釣った事、小学校 4 年生の時、体長 68 cm、重量 1,5 kg のサクラマスを「2 本チョン掛け」で引っ掛け、あまりの大きさに淵に引きずり込まれそうになった事、当時は魚が配給制で、切り身にして近所に配り喜んで貰った事などをよく覚えている。次回は、鮎取りなど少年時代にもう少し触れてみたいと思う。（文・榎本泰弘）



サクラマス

～和田公民館移転のお知らせ～

平成 26 年 3 月を持って閉校する和田小学校校舎の一部及び体育館へ和田公民館を移転し、公民館活動の充実及び施設の有効活用を図ります。

移転時期は、消防設備等の事業が完了する 7 月 1 日を目標としています。

今後とも地域のみなさんのご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

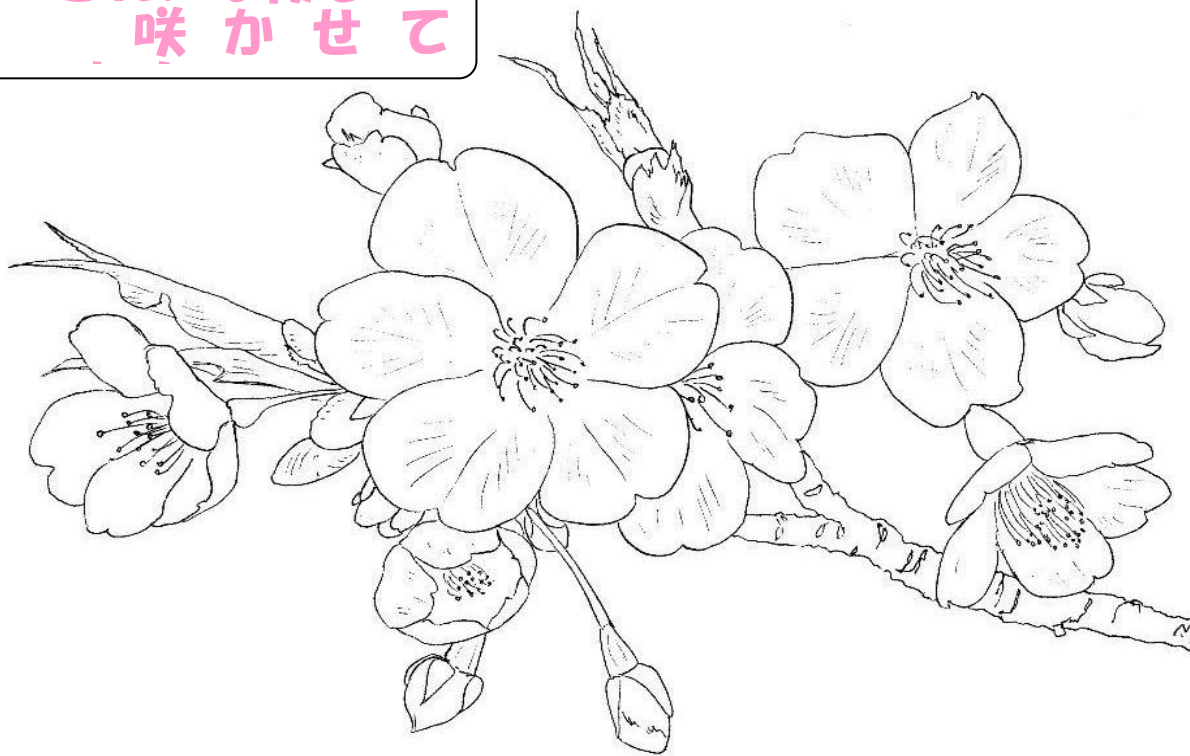
掲 示 板

あなたの、私の、好きな 桜（さくら） をお知らせください！

これから桜の美しい季節となります。和田地区内で「私はここが好き！」という桜を教えてください。「やつおもて」で紹介したいと思います。

メール、デジカメ、電話もオッケー！コッソリ楽しんでいる人も、みんなに知らせてあげたいと思っている人もどうぞよろしく！！

ぬり絵 **きれいな桜を
味かせて**



Copyright(c)2006 creyon_norisun All rights reserved

あ と が き

寒かった冬もようやく過ぎて、暖かな春の訪れを感じるようになりました。いよいよ和田小学校が閉校となりました。約140年の歴史が閉じられたわけです。時代の移り変わりを思うと共に、継続することがいかに難しいことかと改めて感じています。これからは、和田公民館として新たな出発をします。和田公民館がこれからずっと続いていくことが出来ますように、地域の皆さんのあたたかい「ちから」をいただけますようお願い致します。(美)